

養護学校における緊急メーリングリストの構築と運用

－ 保護者・地域・諸機関との広域連携における IT 活用の現状 －

兵庫県立播磨養護学校 教諭 田中 好國

e-mail アドレス yotanaka@harima-yogo.hyogo-c.ed.jp

キーワード：養護学校、緊急メーリングリスト、広域連携、IT、携帯電話

1. はじめに

本校は、中・高等部をもつ全寮制の養護学校で生徒は兵庫県全域から入学してきている。また、全寮制なので身辺自立やコミュニケーション能力が高い生徒も多く、肢体障害の程度は中～軽度のものがほとんどを占めている。高等部の卒業先は、大学・短大・一般企業の正社員など他の養護学校とは大きく異なっている。しかし、生徒出身地域から遠く離れた舎生が多いのでリアルタイムでの家庭との連絡や諸機関との連携が難しいことが問題になっていた。

そこで、保護者と学校の連携に電子的な方法を模索(田中、2003)し、校内の IT 環境を順次整備して、さらに昨年度は CEC の研究助成金もいただき、「いつでも、どこからでも、自由に情報発信や連絡」を行えるように工夫してきた(田中・笹野、2006)。ここでは、手作りで独自のネットワーク利用を推進してきた本校の IT 活用の実践(田中、2006)について、とくに保護者・地域、卒業生との緊急連絡などに携帯電話等を活用した緊急メーリングリスト(ML)の運用と実践を中心にして報告する。

2. 本校の緊急メーリングシステム

(1) システムの概要

右図【図1】は、本校で構築した ML システムの概念図である。本校は、情報通信ネットワークサービスを兵庫県立教育研修所に依存し、校内に「メールサーバ」を設置してサブドメインを得てメールアドレスを自由に発行できるようにした。

ここに、

△▲▽ml@harima-yogo.hyogo-c.ed.jp

という ML アドレスを開設し、さらに自校で開発した ML 運用システムをインストールした「ML 運用サーバ」を置いて ML システムを稼働している(【図2】)。

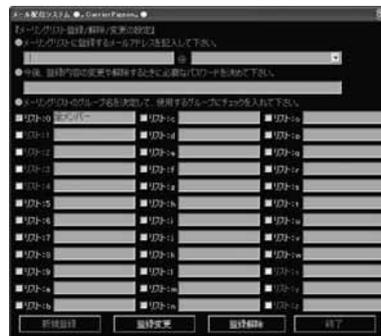
(2) システムの特長

「メールサーバ」のシステムは Web メールシステムと共にフリープログラムを利用している。また、「ML 運用サーバ」のシステムも自校でプログラム開発を行い、それぞれの機器も普通のノート型コンピュータを利用しているので非常に安価なシステムができあがっている。両サーバ共に学校で運用しているので、教職員や保護者の登録も外部に依存せずに行えるので情報漏洩の心配もない(基本的には、学校のネットワーク PC で各自で登録・離脱が可能)。また、ML 送信時にコマンドを入力することにより、日本全国各地からでも携帯電話で ML に情報を配信することができる。

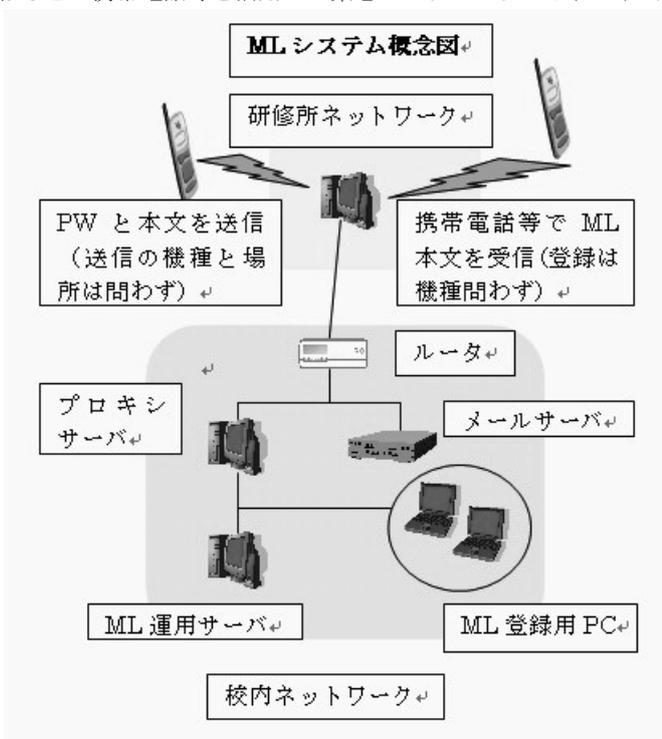


【図2】 ML トップ画面

さらに、本校の ML システムは 1 つの ML アドレスを利用しながら、ML に登録するときにグループを指定しておけば、送信時にコマンドを入力すればグループ別にも配信できるところに工夫がある。このグループは 34 個あるので、教員・保護者別、学年別、地域別、クラス別、クラブ別等多様なグループ別配信が可能となっている(【図3】)。



【図3】 ML 登録画面



【図1】 本校のメーリングリストシステムの概念図

3. 携帯電話等を活用した緊急メーリングシステムの活用例

(1) 緊急MLの日常的な配信例

① 安全防犯、災害・気象等に関する緊急配信例

兵庫県警は、警察署単位の安全防犯情報を配信するシステムをラジオ関西と提携して行っている。これは、県内の警察署管内ごとの情報を選択して受信できるので、必要な情報のみを得ることができる。県警に本校のシステムを伝え、配信された情報を本校のMLに転載する許可をいただいた。ただ、防犯情報が多いので保護者に心配をかけることもありえるので、県警からの情報は内容を取捨選択するかグループ別配信を行って対処している。

災害・気象に関する情報はたつの市から「たつの市防災ネット(防災防犯情報)」として筆者に配信され、とくに本校の教職員・寄宿舎指導員に向けて本校のMLシステムに内容を転載して配信している。これについてもたつの市に情報の転載の許可を得ている。気象情報では、生徒の帰宅日に大雪が降り、筆者からの情報と問い合わせに答えた保護者からの返信情報で市内の道路状況がわかり渋滞をさけることができた例があった。

本校は全県学区なので、保護者の生徒送迎の関係からこの情報では、気象関係の配信が重宝されている。

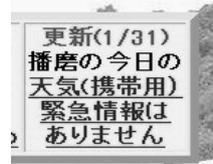
② 保護者等への学校情報の配信例

保護者・卒業生や旧職員などに学校からの行事案内や連絡、携帯電話向けの画像などを配信する場合にもこのMLを活用している。携帯電話向けに画像を配信したい場合、緊急時の連絡や安全情報を知らせたり、リアルタイムの行事情報の配信などでは公式学校Webに【図4】のようなリンクを貼りそのURLを本MLで一斉に配信している。

これにより、保護者や卒業生への携帯電話向けのリアルタイム連絡がテキスト情報だけでなく画像も知らせることができるようになったので保護者には大変好評である(【図5】は携帯電話用にサイズ圧縮した実際の配信画像例)。

③ グループ別配信例

本校のMLシステムの特長は、前述のようにグループ別配信ができることであるが、現実の場面でのML配信ではほとんどの場合にこのグループ別一斉送信を行っている。例えば、保護者の送迎に伴う交通情報や気象情報、PTA会員への連絡などは保護者向けでよいし、教職員の家族の訃報連絡は教職員と寄宿舎指導員グループだけでよい。卒業生のみ、旧職員のみ、サーバーチェックだけなら管理者のみへの配信も自由に行うことができる。すべて1つのMLアドレスを使うので使用も非常に簡単である。グループ登録も34個設定することができるので、今後の配信グループの増加にもしばらくの間対応することができる。



【図4】 リンク



【図5】配信画像例

(2) 他校での応用例

本システムをより広域的に運用活用するための実験として、近隣の新設知的障害養護学校(県立西はりま養護学校)にメールサーバを構築しMLシステムも移植して実証実験を繰り返してもらっている。ここは、小中高等部の児童生徒がスクールバスで通学しているので、保護者に対するバスの遅延のお知らせが号車ごとに配信できるのでとくにグループ別配信機能の実証実験に好適である。システムのメンテナンスなどは遠隔操作などでも行い、本校側でも配信状況を把握してシステムの有効性を確認している。

(3) 校内メールシステムを活用した連携例

地区	学校名	教育相談情報	種別	所属部署	学 校 住 所	電 話	備 考
中 播 磨	兵庫県立姫路東養護学校	教育相談	知的障害	小・中・高	〒670-0012 姫路市本町68-46	079-281-0331	障児科会館
	兵庫県立姫路西養護学校	教育相談	知的障害	小・中・高	〒671-0247 姫路市田原町東門下戸町4-6	079-205-3766	4号ビル4F
	姫路市立西宮養護学校	教育相談	肢体不自由	小・中・高	〒671-2204 姫路市西宮町2-1-48-1	079-266-0028	スクールバス
西 播 磨	兵庫県立福崎養護学校	教育相談	知的障害	中・高	〒679-4002 たつの市新宮町中戸内7-135-7	0791-66-0091	中校舎
	兵庫県立西はりま養護学校	教育相談	知的障害	小・中・高	〒679-6146 たつの市新宮町光蔵1丁目3-1	0791-60-8277	1号校舎
	兵庫県立小倉養護学校	教育相談	知的障害	小・中・高	〒678-0252 小倉山天津1356	0791-43-9266	4号ビル4F

【図6】6校地域支援連携協議会のページ

センターの機能の広域連携として、今後の特別支援教育の情報活用として有用であると思われる例を簡単に紹介したい。

① 地域支援連携の強化(【図6】)

近隣地域内の障害のある児童生徒に対する教育支援について連携を行う場合の相互連携システムとして活用している。

② 卒業生等への教育支援

「個別の教育支援計画」策定に関しても個人情報保護を考慮しながらシステム運用の実験を行う意義があると思われる。

4. 校務に活用するためのIT環境の構築

本校は平成9年より種々の研究指定を受け、その助成金を有効に使いながらIT環境の整備を行ってきた。現在では、寄宿舎を含めて全教室等でネットワークを利用でき、職員のPC操作率(1人1台配布済)は5年ほど前から100%に達している。このような環境を積極的に職員で構築したので情報化が進展してきたと言える。